

2012年度第4回 鋼構造運営委員会議事録(案)

日時： 2013年3月21日(木) 13:00~15:00

場所： 建築会館

出席者： 緑川主査，一戸，井戸田，岡本，向野，河野守，澤本，竹内，多田，田中，玉井，
成原，西山，藤澤，藤田，宇佐美，寺田

欠席者： 小河，越智，笠井，金子，河野昭彦，桑村，吹田，田川，中込，中島，山田

資料：

04-01 2012年度 第4回鋼構造運営委員会議事予定	(緑川)
04-02 2012年度 第3回鋼構造運営委員会議事録(案)	(寺田)
04-03 構造本委員会(3月15日)議案および資料抜粋	(緑川)
04-04 会告 講習会「鋼構造物の座屈に関する諸問題2013」	(竹内)
04-05 鋼構造接合小委員会2012年度第4・5回議事録(案)，小委員会設置申請書	(田中)
04-06 2012年度 第4回 鋼構造制振小委員会 議事録(案)，制振設計指針目次	(緑川)
04-07 鋼構造耐火設計小委員会 第13回 議事録(案)	(河野守)
04-08 鋼構造環境小委員会 2012年度第4回議事録	(藤田)
04-09 第16回 鋼構造素材小委員会 議事録(案)	(山田)
04-10 2012年度 鋼構造塑性設計小委員会 第4回 議事録(案)，目次案	(玉井)
04-11 2012年度第3回 東日本大震災鋼構造被害検討WG議事録(案)	(西山)
04-13 関連書籍に関する質疑回答一覧	(多田)
04-14 鋼構造運営委員会，小委員会 2013年度予算案	(緑川)
04-15 鋼構造運営委員会委員入れ替え	(多田)
04-16 日本建築学会大会プログラム編成会議(4/24)の鋼構造部門の参加依頼	(多田)
04-17 鉄鋼連盟資料「標準化センターにおけるJIS原案作成のながれ」	(藤澤)
(資料 -12は欠番)	

議事

1. 前回議事録の確認(資料04-02，寺田)

- ・議事録に記載の鋼構造運営委員会から選出する次年度の災害委員会委員の変更(西山委員 宇佐美委員)が報告され，議事録は承認された。

2. 構造本委員会報告(資料04-03，緑川)

資料に基づき，3月15日開催の構造本委員会の議事が報告された。鋼構造運営委員会に関係する主な内容は下記の通り。

- ・予算削減のため，「委員会資料のPDF化と事前配信」が理事会で決定した。4月以降運営されることになるのでご協力をよろしく願います。
- ・鋼構造に関連する委員として，論文集委員会には田中剛委員が，また，技術報告集委員会には北海道大学の岡崎委員が，それぞれ決定した。

- ・「鋼構造物の座屈に関する諸問題2013」の出版が了承された。
- ・大会の発表時間は、例年通り発表5分-質疑3分の計8分。

3. 各小委員会報告

資料等に基づき各小委員会の活動が報告・審議された。主な点を記す。

1) 座屈小委員会(資料04-04竹内)

- ・「座屈に関する諸問題2013」の出版講習会が6/11(東京)および7/6(名古屋)に開催される。学生への声掛けなど積極的な協力をお願いします。原稿は出版社に提出済。

2) 接合小委員会(資料04-05, 田中)

次年度の体制および活動内容として

- ・小委員会主査-幹事を、増田委員(宇都宮大)-桑原委員(大阪大)にお願いする。
- ・次年度以降の主な活動は、高力ボルト接合設計施工ガイドブックの改定、柱脚設計に関する諸問題の新規出版および接合部設計指針第4版改定としている。は2013年度査読、2014年度出版を、は2年後くらいに大会PDを実施し、その2年後くらいの刊行を想定している。については現場混用継手などを充実させることを想定し検討開始している。、およびとも、WGを組織して活動していく予定。WGの設置については、構造本員会の了承が要るので次回構造委員会に間に合うように書類を準備すること。

3) 制振小委員会(資料04-06, 緑川)

- ・現在、鋼構造制振設計指針の小委員会査読を4月までの予定で実施している。その後5月に鋼構造運営委員会査読開始の予定。2014年度の早い時期の出版を目標としている。
- ・鋼構造運営委員会の査読担当の竹内委員から、「新しく作られる指針は400ページを超えているので査読期間を長めに設定していただききたい」とリクエストされた。

4) 環境小委員会(資料04-08, 藤田)

- ・リユースガイドブックの執筆と並行し、CASBEEの評価項目にリユース材を追加することを働きかけていく。
- ・有期限建築として建てられても、所定の期限(15年)後も使い続けている事例があるようだ。ただし、有期限建築として設計されていても設計上構造性能は低下させていない。

5) 素材小委員会(資料04-09, 成原)

- ・小委員会では、12月の運営委員会の重点審議の議論を踏まえ収集データをまとめている。平行して2013年度大会PDの企画を進めている。PDの内容を踏まえ、最終報告書を作成する。
- ・なお、PDの「まとめ」は西山委員が担当することとなった。

6) 塑性設計小委員会(資料04-10, 玉井)

- ・次年度、大阪大学の向出委員を追加し、活動していく。
- ・塑性設計指針の改定版の目次がほぼできた。
- ・本小委員会にて2014年度大会PDを担当することとなった。
- ・鋼構造運営委員会の次々回(7月)重点審議対象として、「鋼構造塑性設計指針」を取り上げることとなった。

7) 東日本大震災鋼構造被害検討WG(資料04-11, 西山)

- ・震動被害や津波被害の項目ごとにとりまとめ担当を決め、各大学、各グループの個々の調査報告

を集め、2013年7～9月を目標に原稿を作成している。

・報告書目次案は、資料のとおり。

8) 耐火小委員会(資料04-07,河野守)

・引続き、耐火設計指針の改定に向け内容の議論をしている。

4. 関連書籍に関する質疑回答一覧(資料04-13,多田)

・会員からの質疑に対しては、引き続き担当の小委員会にて対応をお願いします。

・なお、質疑に対するとりまとめ担当を井戸田(新)幹事に次年度から交代する。

5. 2013年度鋼構造運営委員会,小委員会予算原案について(資料04-14,緑川)

・2013年度の常置調査研究委員会の全体予算は12%削減されているが、鋼構造運営委員会は5%のアップとなっている。運営委員会の全体予算を資料記載の内容で配分する。

6. 2013年度鋼構造運営委員会委員交代について(資料04-15,多田)

・小河委員(東工大),田中委員(神戸大),金子委員(竹中),桑村委員(東大)が運営委員会委員を退任し,増田委員(宇都宮大),宇佐美委員(竹中),木村委員(東北大)が新たに委嘱された。なお,桑村委員については構造委員会で未承認なので,次回構造委員会に間に合うように事務局へ連絡すること。

・なお,桑村委員が担当していた日本鉄鋼連盟「鋼材規格第三者委員会(資料04-17参照)」への鋼構造運営委員会からの派遣委員を竹内委員(東工大)に交代する。

7. 大会プログラム編成会議への参加依頼について(資料04-16,多田)

・編成会議が4月24日に予定されている。資料記載の10名の委員に参加を依頼した。当日,よろしくをお願いします。

(主査・幹事より)

今期の鋼構造運営委員会は今回で終了します。運営にご協力頂いた委員各位にお礼申し上げます。どうも有り難うございました。

次回鋼構造運営委員会(2013年度第1回)

・2013年5月23日(木)14:00~17:00 建築会館にて(5月の重点審議は行わない。)

なお,その後は7月末,8/29(大会前日),12月上旬,2014年3月末(年度5回)を予定している。

以上(記録:寺田)